

社会科学学習指導案

I 単元 わたしたちの前橋市一学校のまわりをたんけんしよう②ー

II 考察

1 教材観

(1) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

(1) 自分たちの住んでいる身近な地域や市（区，町，村）について，次のことを観察，調査したり白地図にまとめたりして調べ，地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

ア 身近な地域や市（区，町，村）の特色ある地形，土地利用の様子，主な公共施設などの場所と働き，交通の様子，古くから残る建造物など

(2) 培われる主な資質・能力

- ・身近な地域の様子に関心をもち，意欲的に調べるとともに，地域の様子の特色やよさを考えようとする態度
- ・身近な地域の様子にかかわる事象から問題を見出して追究し，地域の様子は場所によって違いがあることを考え，表現する力
- ・身近な地域の様子についての的確に観察，調査したり，具体的資料を活用したりして，必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする力
- ・地域の様子は場所によって違いがあることや，土地利用の様子と交通の様子は相互にかかわりがあることについて理解する力

(3) 教材や学習対象の価値

本単元では，学校周辺にある2つの道路沿いの土地利用や交通の様子を対象として学習を行う。その価値は以下のとおりである。

学校の近くを南北に通る赤城県道と才川通りには，道路に面して商店や家，公共施設などが見られる。これらの土地利用の様子の中で，道路沿いにある商店に着目すると，赤城県道沿いには駐車場のある比較的大きな商店があり，才川通り沿いには駐車場のない比較的小さな商店があるという顕著な違いが見られる。この違いは，主要地方道としての赤城県道と，かつての街道であった一般市道としての才川通りの機能的な違いが一因となっている。

この2つの道路について，商店や交通の様子を調べることは，地域の様子は場所によって違いがあることを具体的に考えられる。また，2つの道路には交通の様子に違いがあることから，他地域との結び付きや商店を利用する人の生活圏に目を向け，土地利用の様子と交通の様子との関連とともに，学校を中心とした身近な地域の様子の特徴を理解できる。さらに，交通に着目した社会的な見方や考え方を基に，学校を中心とした身近な地域の様子の特徴について考えることは，地域社会に対する関心を高めることにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、3年「わたしたちの前橋市ー前橋市の様子を調べようー」で、前橋市の土地利用の様子と交通網や地形の様子とを関連付け、前橋市の場所による様子の特色を考える学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、3年「わたしたちの前橋市ー学校のまわりをたんけんしよう①ー」で、学校を中心とした四方位ごとの土地利用の様子を調べて比較し、学校周辺にある公共施設の位置や働き、土地利用の様子の特徴を考えてきた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・学校周辺にある公共施設や土地利用の様子などを意欲的に調べ、身近な地域への興味・関心を高めてきた。このような子どもたちが、学校周辺にある道路沿いの土地利用の様子について、意欲的に調べ、さらに身近な地域への興味・関心を高められるように、赤城県道沿いと才川通り沿いの様子の特徴を基に、疑問点や調べたいことを話し合う活動を設定する。
- ・学校を中心とした四方位ごとの土地利用の様子を比較し、場所による様子の特徴の共通点や相違点を考えられるようになってきている。このような子どもたちが、土地利用の様子と交通の様子とを関連付けて学校周辺の様子の特徴を考えられるように、交通の様子や商店を利用する人の様子について見出した相違点を基に、赤城県道沿いと才川通り沿いの商店の様子が異なる理由を話し合う活動を設定する。
- ・学校周辺の土地利用の様子について観点を決めて観察、調査し、問題の解決に必要な情報を記録したり、地図記号を用いて地図に表したりできるようになってきている。このような子どもたちが、問題の解決に必要な情報をまとめられるように、赤城県道と才川通りの情報を観点ごとに比較して整理できる表を用意する。
- ・学校周辺にある公共施設の位置や働き、学校周辺の土地利用の様子は場所によって違いがあることを理解している。このような子どもたちが、土地利用の様子と交通の様子との関連を基に、学校周辺の様子の特徴を理解できるように、学校周辺の様子についての自分なりの発見とその理由を話し合う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 赤城県道沿いと才川通り沿いの商店の様子が異なる理由について予想し、追究する観点や方法を話し合うことを通して、問題の解決の見通しをもつ。
- 2 準備 赤城県道沿いと才川通り沿いの土地利用の様子の特徴を整理した掲示物 赤城県道沿いと才川通り沿いの商店や赤城県道と才川通りの交通の様子についての写真
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・赤城県道沿いは駐車場がある大きなお店が多く、才川通り沿いは駐車場がない小	○赤城県道沿いと才川通り沿いの商店の様子の違いを想起できるように、2つの道路沿いの様子の特徴を問いかける。

さなお店が多かったな。

- ・お店の様子の違いを考えるために、もう少し調べていくことをはっきりさせないといけないな。

2 共通課題についての予想や追究する観点を話し合う。

- ・赤城県道と才川通りは、道の幅が違ったけど、お店の違いと関係があるのかな。
- ・なるほど、幅が広い道はたくさんの車が通るところと考えたのか。
- ・たしかに、たくさんの車が通るところのお店は駐車場があると便利だな。だから、赤城県道は大きなお店があるのかな。
- ・才川通りのお店が小さいのは、道幅が狭くて車があまり来ないということかな。
- ・予想のまとめから、道の広さ、通る車の数、お店にお客さんが来る数や方法が関係していそうだな。

3 2つの道路沿いのお店の様子が異なる理由について追究する方法を話し合う。

- ・道の幅の広さは見た目では比べられるよ。
- ・車の通る数は実際に数えてみれば確かめられると思うな。
- ・なるほど、道の幅は横断歩道を歩くときの歩幅や車線の数でも比べられるのか。
- ・お店にお客さんが来る方法は、停まっている車や自転車を見れば分かるかな。
- ・お客さんの数や来ている場所などは、お店の人に聞くというのはよい方法だな。

4 本時のまとめをする。

- ・早く赤城県道と才川通りの様子を調べたいな。

○2つの道路沿いの商店の様子が異なる理由について調べる学習計画を立てるとい学習の見通しをもてるように、共通課題と本時の活動を問いかける。

☆2つの道路沿いの商店の様子が異なる理由についての予想をもてるように、赤城県道沿いの駐車場のある大きな商店と才川通り沿いの駐車場のない小さな商店の様子や、赤城県道と才川通りの交通の様子が分かる写真を提示する。

☆2つの道路沿いの商店の様子が異なる理由についての予想を共有できるように、発表された予想の要点を短冊に記述して掲示する。

☆2つの道路沿いの商店の様子が異なる理由についての予想を分類して捉えられるように、短冊の仲間分けを考えるよう促す。

☆追究する観点を考えられるように、仲間分けした短冊のまとめりごとにつける見出しを問いかける。

☆追究する方法を考えられるように、追究する観点ごとに予想を確かめることができる具体的な方法を学習プリントに記述するよう促す。

☆追究する方法を決定できるように、仲間分けした予想の要点の内容に照らし、適切な追究する方法を問いかける。

評価項目

2つの道路沿いの商店の様子が異なる理由を追究する観点や方法について記述したり発言したりしている。<学習プリント・発言(2)>

○これからの追究への意欲を高められるように、次時に追究する観点や方法を明確にもてたことを賞賛する。

指導と評価の計画（全7時間）

目標	学校周辺の様子は場所によって違いがあることを考え、学校周辺の地域の特色を理解する。			
評価規準	(1) 学校周辺の様子について関心をもち、意欲的に調べようとしている。 (2) 学校周辺の様子について問題や予想、学習計画を考えたり、学校周辺の土地利用の様子と交通の様子とを関連付け、場所によって様子に違いがあることを考えたりし、表現している。 (3) 学校周辺の様子について追究する観点に沿って観察、調査したり、まとめたりしている。 (4) 学校周辺の様子は、土地利用の様子と交通の様子との関連によって違いがあることを理解している。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点（☆は研究上の手立て）	評価項目＜評価方法（観点）＞
課題をつかむ	1	○学校周辺の様子をまとめた地図から、疑問点や調べたいことを考え、話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 共通課題 なぜ、赤城県道沿いと才川通り沿いのお店の様子は違うのだろう。 </div>	○学校周辺の道路沿いの様子についての疑問点や調べたいことが考えられるように、赤城県道沿いと才川通り沿いの様子の特徴を比較して板書する。	◇赤城県道沿いと才川通り沿いの様子の違いに関する疑問や調べたいことを記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言（1）＞
	1	○赤城県道沿いと才川通り沿いの商店の様子が異なる理由を予想し、学習計画を立てる。（本時） ＜調べる観点例＞・道幅 ・交通量 ・店を利用する人	☆問題の解決の見通しを立てられるように、赤城県道沿いと才川通り沿いの商店の様子が異なる理由の予想を共有し、追究する観点や方法を話し合う活動を設定する。	◇2つの道路沿いの商店の様子が異なる理由を追究する観点や方法について記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言（2）＞
追究する	2	○観点に沿って赤城県道と才川通りの様子を調べる。	○2つの道路の様子の違いを調べられるように、観点に沿って道路ごとの様子を整理できる学習プリントを用意する。	◇2つの道路の道幅や交通量、店を利用する人についての違いを記述している。 ＜学習プリント（3）＞
	1	○調べたことを基に、商店の様子が異なる理由に対する自分なりの考えをもつ。	☆赤城県道沿いと才川通り沿いの様子が異なる理由に対する自分なりの考えを明確にもてるように、小集団での交流を基に自分の考えを再考する活動を設定する。	◇観察、調査を通して分かったことを基に、2つの道路沿いの様子が異なる理由を記述している。 ＜学習プリント（2）＞
	1	○赤城県道沿いと才川通り沿いの商店の様子が異なる理由を話し合う。	☆土地利用の様子と交通の様子との関連を理解できるように、学級全体での交流を基に赤城県道沿いと才川通り沿いの様子が異なる理由に対して自分の考えを再考する活動を設定する。	◇交通の様子や利用する人の違いにより、大きな商店のある場所と小さな商店のある場所があることを記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言（4）＞
まとめる	1	○学習を振り返り、学校周辺の様子について自分なりに発見したことを話し合う。	○学校周辺の様子の特徴について理解を深められるように、小集団で自分なりの発見とその理由について共有する場を設定する。	◇学校周辺の土地利用の様子の特徴や、土地利用の様子と交通の様子との関連について記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言（4）＞